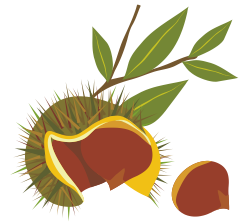


# 11月の行事と解説



11月の季語 : 晩秋/暮秋/落葉/向寒/初霜

・晩秋の候 ・向寒のみぎり ・紅葉の色もあせて など

## 自由と平和を愛し、文化をすすめる 文化の日

1948年に制定された国民の休日です。戦前、この日は明治天皇のお誕生日にあたるということから、明治節と呼ばれていました。

現在では、文化の発展に功労のあった人々に文化勲章が授与され、また文化功労者および各種褒章の受賞者の伝達式などが行われたり、文化庁主催による芸術祭が開催されたりするようです。

家族でのんびり、美術館や劇場などに足を運ぶのもよいかもしれませんね。



## 国民が互いに感謝を 勤労感謝の日

1948年に「勤労を尊び、生産を祝い、国民互いに感謝しあう」ことを趣旨として制定された国民の休日です。

勤労感謝の日は戦前「新嘗祭（にいなめさい）」と呼ばれる儀式が行われる日でした。「新嘗祭（にいなめさい）」とは、天皇がその年に収穫された新穀や新酒を天照大神をはじめとする天地の神に供え 農作物の恵みに感謝する式典でした。

現在では、「勤労」は至極当たり前のことと思われがちですが、元気で働けることに感謝し、また家族が元気で仕事についていることを喜び合いたいものです。



## 子供の成長を願い、子の厄を祓う 七五三

本来、三歳・五歳・七歳は子供の厄年といわれ、身体的にも精神的にも、成長の節目に当たるといわれています。

昔は男女ともに、三歳になると「髪置」といって、髪を伸ばして結いなおしました。男の子は五歳になると「袴着」という、袴と小袖をつけて扇を持つ儀式をし、女の子が七歳になると「帯解き」という、つけひもをとり初めて本式の帯を締める儀式を行いました。これらを称して「七五三の祝い」とし、氏神様にお参りしたのです。



11月の花 : さざんか

